

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 3年 3月 10日

事業所名 大町児童デイサービスセンターひかり 保護者等数(児童数)28名 回収数20名 割合 71.4 %

		チェック項目	評価				ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	16	3	2	1	活動に合わせて限られた空間を工夫して活用しています。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	15	4	2	1	職員は配置基準より2名多く配置。児童指導員・保育士・障害福祉サービス経験者を配置している。
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	18	2	0	2	
適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	21	0	0	1	保護者のニーズや本人の課題に着目し計画作成し、3ヶ月に1回モニタリング実施、6ヶ月に1回見直ししている。
	5	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	19	2	0	1	平日は曜日によって活動内容が固定しているものもあるが、年間行事を企画実施したり、長期休みに楽しめる行事を企画しています。
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	7	7	4	4	公園や図書館利用時交流がある程度。地域の行事にも積極的に参加しているが、児童クラブや児童館との交流はないため今後計画していきます。
保護者 への 説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	17	5	0	0	契約時にパンフレット使用し説明しています。
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	20	1	1	0	
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	14	5	2	1	保護者との面談を定期的実施していけるよう努力します。
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	17	2	0	3	親子行事や茶話会を実施していますが、参加できていない保護者もいますので開催日など工夫していきます。父母の会はありません。
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	16	3	0	3	苦情については速やかに対応しているが周知・説明ができていないので今後検討します。
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	18	2	1	1	連絡帳を活用されている保護者が多いので今後も継続していきます。
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	19	1	0	3	3ヶ月に1回広報作成し配布しています。また毎月の利用希望表にて行事をお知らせしています。今年度より自己評価の公表を実施していきます。
非常時 等の 対応	14	個人情報に十分注意しているか	20	20	0	0	契約時個人情報利用同意書にサイン・捺印いただいています。広報に写真を載せる場合は同意をいただいています。
	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	16	4	1	1	各種マニュアルはあるが保護者への周知が不足しているので周知していきます。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	19	0	0	3	毎月実施し保護者に利用希望表や広報にて報告しています。
満足 度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	16	4	0	2	とても楽しみにしているという意見が多かったのですが、少人数のときが楽しいとの意見もあり、環境設定等で工夫して対応していきます。
	18	事業所の支援に満足しているか	19	2	1	0	ありがたいという言葉ではたりないくらいありがたいという意見やスタッフさんがきちんと対応してくれるという意見あり。これからも日々研鑽しより良い支援を目指していけるよう努力していきます。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことで、放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことで、子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和3年3月10日

事業所名

大町児童デイサービスセンターひかり

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		長期休みの際など工夫しながらスペースを有効活用しています。	
	2	職員の配置数は適切である	○		介護福祉士・児童指導員配置。基準以上の人員配置しています。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		ISO取得。全職員で業務改善についての話し合いを行い取り組んでいます。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		保護者向けに満足度調査を実施し、評価結果を分析し対応を改善しています。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		昨年度より実施しました。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	外部評価は行っていません。	今後検討していきたいと思います。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		内部研修の年間計画をたて定期的に勉強会を行っています。外部研修に参加した際は伝達研修を行い情報を共有し全職員のスキルアップを目指しています。	
適切な支援	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		ご家族からのアセスメントと職員視点でのアセスメントを行っています。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		事業所独自のアセスメント様式を使用し、児童の発達の変化を見ています。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		当日、一人ひとりの活動プログラムを打ち合わせしています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		曜日で固定している活動もあるが、調理や行事・制作活動などを組み込みながら変化のあるスケジュールを作成しています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		長期休みは季節に応じた活動を取り入れながら、屋内外での活動のルールを習得できるように支援しています。	

支援の提供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		本人の発達に合わせた個別の活動とルール習得のための集団活動を組み合わせています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		当日、スタッフで話し合い、活動グループや活動内容を決めています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		いつもと違うことはスタッフの連絡ノートに記載したり、ケース記入時スタッフ間で情報共有を行っています。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		記録はその日のうちに行っています。また記録から支援の検証を行っています。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		3ヶ月1回モニタリングを実施し、計画の見直しに繋がっています。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○		児童の心身の発達を目指した活動を複数取り入れています。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		学校側から月間予定表が配布。連絡帳の活用や各学校の先生と直接話し、情報共有しています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている				対象児童はいません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○			
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○			転居の際は情報シート作成しご家族に渡している。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○	現在は行っていません。	今後検討していきたいと思います。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○			三沢市やおいらせ町で行っている自立支援協議会や三沢市の子ども・子育て会議に参加しています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			連絡帳やお迎えに来た際など日々の状況をやり取りし、共通理解を図っています。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○			今年度は茶話会の前に就労の勉強会やペアレント支援を抱き合わせて開催しました。	

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		利用契約時に行っています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		子育ての悩みについては随時相談に応じ助言をしてきています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		1年に数回、茶話会を企画し参加を呼びかけています。保護者同士で情報を交換したり、悩みを相談する場となっています。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		子どもや保護者から相談申し入れがあった場合は時間や場所を確保し、適切な人が対応できる体制づくりをしています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		広報を定期的に発行、毎月利用希望表にて行事予定をお知らせしています。必要なことがあればお手紙を発行しています。	
	35	個人情報に十分注意している	○		契約時個人情報利用同意書にサイン・捺印いただいています。広報に写真を載せる場合は同意をいただいています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		子どもに対しては視覚でわかるような配慮をしています。保護者に対しては専門用語を使わないよう配慮し、わかりやすく説明しています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○			
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		毎月地震・火災・不審者想定避難訓練実施しています。非常食の備えをしています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		毎年、県主催の虐待研修に参加しています。参加者より伝達研修を行っています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		身体拘束の事案はありません。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		アレルギー確認書に記載していただき職員間で情報の共有をしています。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しています。	

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和3年3月10日

事業所名三沢発達支援センターひかり

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である		○	午睡時、寝ない子どもの活動スペースの確保が難しかったが、工夫し対応しました。	
	2 職員の配置数は適切である	○		常勤1名保育士1名配置。放課後等の職員も支援に入ります。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がい者の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		場所によって活動する内容が決まっており児童が混乱しないよう工夫しています	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている		○	夏は暑く冬は肌寒く感じる時があります。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		毎年、事業計画策定し、月に1回職員会議で進捗確認しています。改善活動の研究発表を毎年行っています。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		保護者向けに満足度調査を実施し、評価結果を分析し対応を改善しています。	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		昨年度より実施し、ホームページにて公表しています。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	外部評価は行っていません。	今後検討していきたいと思えます。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		内部研修の年間計画をたて定期的に勉強会を行っています。外部研修に参加した際は伝達研修を行い情報を共有しています。	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		支援計画に対し3か月ごとにモニタリング実施し、課題やニーズを見直ししています。計画は保護者に確認して頂き修正を加えています。	
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		事業所独自のアセスメント様式を使用し、児童の発達の変化を見えています。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		各項目に沿ってできるだけ具体的な支援内容になるよう作成しています。	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		日々支援計画にそって支援し、記録を作成しています。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		前日、スタッフで話し合い、活動グループや活動内容を決めています。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		曜日で固定している活動もあるが、調理や行事・制作活動などを組み込みながら変化のあるスケジュールを作成しています。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○		本人の発達に合わせた個別の活動とルール習得のための集団活動を組み合わせています。	
17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している		○	毎回出来ないこともありました。		

	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○	いつもと違うことはスタッフの連絡ノートに記載したり、スタッフ間で話し合いを持ちますが、その日のうちの支援の振り返りは出来ていません。	朝の朝礼時に情報の共有をするようにしています。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○	記録はその日のうちに行っています。また記録から支援の検証を行っています。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○	3ヶ月1回モニタリングを実施し、計画の見直しに繋がっています。	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○	市町村や児童相談所、保健師と連携し情報の共有を図っています。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		対象児童はいません。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		対象児童はいません。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○	就学児童の保護者に対しては発達相談に参加し情報の共有を図ります。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○	特別支援学校と情報共有しています。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○	青森市や八戸市にある発達障害者支援センターが主催する研修等に積極的に参加しています。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○	現在は行っていません。	今後検討していきたいと思います。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加している	○	三沢市やおいらせ町で行っている自立支援協議会や三沢市の子ども・子育て会議に参加しています。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○	連絡帳やお迎えに来た際など日々の状況をやり取りし、共通理解を図っています。	
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○	今年度は茶話会の際に保護者対象に参考文献の貸し出しを行いました。		
保護者への説明責任	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○	契約時に行っています。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○	計画作成時に行っています。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○	子育ての悩みについては随時相談に応じ助言をしてきています。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○	1年に数回、茶話会を企画し参加を呼びかけています。保護者同士で情報を交換したり、悩みを相談する場となっています。	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○	子どもや保護者から相談申し入れがあった場合は時間や場所を確保し、適切な人が対応できる体制づくりをしています。	

口等	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		広報を定期的に発行、毎月利用希望表にて行事予定をお知らせしています。必要なことがあればお手紙を発行しています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		契約時個人情報利用同意書にサイン・捺印いただいています。広報に写真を載せる場合は同意をいただいています。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		子どもに対しては視覚でわかるような配慮をしています。保護者に対しては専門用語を使わないよう配慮し、わかりやすく説明しています。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○			各種マニュアルは策定しているが保護者への周知が不足しているので周知する機会を設けます。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		地震・火災・不審者想定避難訓練実施しています。非常食の備えをしています。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		契約時に確認しています。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		食物アレルギーの有無を確認し、医師の指示を確認し、職員で情報共有しています。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリ気づきノートに記載し、毎月の職員会議で確認、共有しています。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		毎年、県主催の虐待研修に参加しています。参加者より伝達研修を行っています。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している				身体拘束の事案はありません。

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表：令和3年 3月 10日

事業所名 三沢発達支援センターひかり

保護者等数(児童数) 12名 回収数 8名 割合 67%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	5	1	0	2	屋内でも十分な運動ができるスペースが確保されているので子供も楽しく活動しています。	限られたスペースを有効活用していきます。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	6	0	0	2	子供の人数に対して1人1人に対応できる配置数だと思います。	常勤1名保育士1名の2名の配置で放課後等の職員も兼務で支援に入っています。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	7	1	0	0	遊ぶ部屋勉強する部屋などわかりやすい生活空間で仕切られています。玄関はせまいですがトイレは車いすがいれる広い空間となっています。	活動スペースを構造化したり、写真やイラスト活用しています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	8	0	0	0	とても開放感がある空間でそれぞれの活動に合わせた空間になっていると思います。	今年は特にコロナ過で清掃や消毒に心がけています。
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	8	0	0	0	子供に対する保護者の希望を分析し個々の発達に沿った計画になっています。	保護者のニーズや本人の課題に着目し計画作成し、3ヶ月に1回モニタリング実施、6ヶ月に1回見直ししている。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	7	1	0	0	子供の発達に必要な項目が個々の発達に沿った具体的な内容が分かりやすく設定されていると思います。	保護者への説明不足があると思うので今後は、分かりやすく説明していきます。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	6	2	0	0	子供の成長を見ながらその成長にあった支援計画が行われていると思います。	計画書に基づいて支援しています。
	8 活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	7	1	0	0	個々に合わせて色々なプログラムを工夫されていると思います。	年間行事を企画実施したり、長期休みに楽しめる行事を企画しています。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	4	1	1	2	認定こども園に通うことになり活動する時間が多くなります。	今後検討していきたいと思っています。
	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	8	0	0	0	その都度説明されています。	契約時にパンフレット使用し説明しています。
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	7	0	0	1	定期的な発達支援計画を示しながら丁寧に説明していただいています。	保護者への説明不足があると思うので今後は、分かりやすく説明していきます。
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング*4等)が行われているか	5	1	0	2		今年度は茶話会の前に就労の勉強会やペアレント支援を抱き合わせて開催しました。

保護者への説明等	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状態、課題について共通理解ができているか	8	0	0	0	毎日連絡帳で子供の状況・課題を知ることができています。送迎時にも何かあれば直接話をしています。	連絡帳や送迎の際に情報伝達するようにしていきます。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	5	2	0	1	色々その都度相談させていただいています。	定期的な面談ができていないので実施していきます。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	6	2	0	0	まだ参加できていませんが定期的に保護者会が開催されているので連携が支援されていると思います。	親子行事のほか今年度は茶話会を4回開催しました。参加する方が固定してきている感じがします。
	16	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	6	1	0	1	相談を申し入れると迅速丁寧に対応いただいています。	苦情解決の体制はあります。迅速・適切な対応を心がけていきたいと思っています。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	6	2	0	0	毎日連絡帳や送迎時細かく伝えていただいています。	連絡帳を活用されている保護者が多いので今後も継続していきます。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	5	1	0	2	行事予定は毎月発行されています。	児童発達支援の活動もホームページで紹介するよう努力していきます。
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	8	0	0	0	とても注意されていると思います。	契約時個人情報利用同意書にサイン・捺印いただいています。広報に写真を載せる場合は同意をいただいています。
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	4	2	0	2		各種マニュアルは策定していますが保護者への周知が不足しているため周知する機会を設けます。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	6	1	0	1	定期的に避難訓練をしています。	毎月実施しているが参加出来ない児童もいたので実施日を検討していきます。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	8	0	0	0	お迎えが来るとうれしそうにしています。	引き続き子どもたちが楽しめる療育ができるよう努力します。
	23	事業所の支援に満足しているか	7	1	0	0	とても満足しています。	日々研鑽しより良い支援ができるよう努力していきます。

*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶことで、子どもが適切な行動を獲得することを目標としています。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和3年3月10日

事業所名 緑ヶ丘児童デイサービスセンターひかり 保護者等数(児童数)21名 回収数18名 割合 86%

	チェック項目	評価				ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	11	3	2	2	活動に合わせて限られた空間をパーティションで区切るなどし、工夫して活用しています。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	15	3	0	0	保育士・介護福祉士・社会福祉士等基準人数以上を配置しています。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	16	1	0	2	スロープや手すりが適切な場所に設置されている。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	18	0	0	0	保護者のニーズや本人の課題に着目し計画作成しています。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	15	3	0	0	平日は曜日によって活動内容が固定しているが、個別課題は定期的に見直ししている。年間行事を企画実施したり、長期休みに楽しめる行事を企画しています。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	7	2	3	6	公園や図書館利用時交流がある程度。地域の行事にも積極的に参加しているが、児童クラブや児童館との交流はないため今後計画していきます。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	17	1	0	0	契約時にパンフレット使用し説明しています。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	14	4	0	0	利用頻度が少ない児童の保護者より共通理解がむずかしいとの意見が聞かれていたので面談の時間を積極的に設けて行きます。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	14	4	0	0	送迎時に少し話をする程度で正式に面談という形をとっていなかったため今後検討・実施していきたいと思います。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	15	1	0	2	親子行事や茶話会を実施していますが、参加できていない保護者もいますので開催日など工夫していきます。父母の会はないです。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	14	0	0	4	苦情については速やかに対応していますが周知・説明ができていないので今後検討します。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	14	3	0	1	連絡帳を活用されている保護者が多いので今後も継続していきます。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	16	0	0	2	2ヶ月に1回広報作成し配布しています。また毎月の利用希望表にて行事をお知らせしています。今年度より自己評価の公表を実施していきます。
	14 個人情報に十分注意しているか	18	0	0	0	契約時個人情報利用同意書にサイン・捺印いただいています。広報に写真を載せる場合は同意をいただいています。
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	17	0	0	1	各種マニュアルはあるが保護者への周知が不足しているので周知していきます。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	18	0	0	0	火災・地震を想定し定期的の実施しています。
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	17	0	1	0	とても楽しみにしているという意見が多かったのですが、少人数のときが楽しいとの意見もあり、環境設定等で工夫して対応していきます。
	18 事業所の支援に満足しているか	16	2	0	0	支援方法について日々研鑽しより良い支援を目指していけるよう努力していきます。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことで、放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことで、子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和3年3月10日

事業所名

緑ヶ丘児童デイサービスセンターひかり

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である		○	長期休みの際など工夫しながらスペースを有効活用しています。	クールダウンするスペースがあるといいと思います。
	2	職員の配置数は適切である	○		児童指導員配置基準以上の人員配置しています。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		毎年事業計画策定し、月に1回職員会議で進捗確認しています。改善活動の研究発表を毎年行っています。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		保護者向けに満足度調査を実施し、評価結果を分析し対応を改善しています。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			ホームページで公表。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	外部評価は行っていません。	今後検討していきたいと思っています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		内部研修の年間計画をたて定期的に勉強会を行っています。外部研修に参加した際は伝達研修を行い情報を共有しています。	
適切な支	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		支援計画に対し3か月ごとにモニタリング実施し、課題やニーズを見直しています。計画は保護者に確認して頂き修正を加えています。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		事業所独自のアセスメント様式を使用し、児童の発達の変化を見えています。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		前日、一人ひとりの活動プログラムを打ち合わせしています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		曜日で固定している活動もあるが、調理や行事・制作活動などを組み込みながら変化のあるスケジュールを作成しています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		長期休みは季節に応じた活動を取り入れながら、屋内外での活動のルールを習得できるように支援しています。	

援 の 提 供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		本人の発達に合わせた個別の活動とルール習得のための集団活動を組み合わせています。		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		前日役割分担表を作成し、スムーズに支援や活動が出来るようにしています。		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		児童の当日の状況を振り返り、スタッフ間で話し合いを持ち、次回からの支援にいかしています。		
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		記録はその日のうちに行っています。また記録から支援の検証を行っています。		
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		3ヶ月1回モニタリングを実施し、計画の見直しに繋がっています。		
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	○		児童の心身の発達を目指した活動を複数取り入れています。		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		相談員や学校開催の担当者会議に参加し情報の共有をしています。		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		学校側から配布される月間予定表を把握し送迎時間調整しています。		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている				対象児童はいません。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○			保健師や相談支援専門員と共有しています。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○			ご家族に確認後移行後の事業所に情報伝達しています。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			青森市や八戸市にある発達障害者支援センターが主催する研修等に積極的に参加しています。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		現在は行っていません	今後検討していきたいと思います。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○			三沢市やおいらせ町で行っている自立支援協議会や三沢市の子ども・子育て会議に参加しています。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			連絡帳やお迎えに来た際など日々の状況をやり取りし、共通理解を図っています。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○			茶話会にてペアレントの勉強会や書籍の提供を行いました。	定期的に開催できるよう検討したいと思います。
30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			利用契約時に行っています。		

保護者への説明責任等	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		子育ての悩みについては随時相談に応じ助言をしてきています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		1年に数回、茶話会を企画し参加を呼びかけています。保護者同士で情報を交換したり、悩みを相談する場となっています。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		子どもや保護者から相談申し入れがあった場合は時間や場所を確保し、適切な人が対応できる体制づくりをしています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		広報を2ヶ月に1回発行、毎月利用希望表にて行事予定をお知らせしています。必要なお知らせがあればお手紙を発行しています。	
	35	個人情報に十分注意している	○		契約時個人情報利用同意書にサイン・捺印いただいています。広報に写真を載せる場合は同意をいただいています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		子どもに対しては視覚でわかるような配慮をしています。保護者に対しては専門用語を使わないよう配慮し、わかりやすく説明しています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○			今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			各種マニュアルは策定しているが保護者への周知が不足しているので周知する機会を設けます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		地震・火災・不審者想定避難訓練実施しています。非常食の備えをしています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		毎年、県主催の虐待研修に参加しています。参加者より伝達研修を行っています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		身体拘束の事案はありません。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		診断書の提示はないがお伺いシートにて原因食材の確認、受診状況、服薬について確認しています。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリ気づきノートに記載し、毎月の職員会議で確認、共有しています。	

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和3年3月10日

事業所名 緑ヶ丘発達支援センターひかり

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			
	2 職員の配置数は適切である	○		保育士2名配置しており、基準以上の人員を配置しています。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がい特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		場所によって活動する内容が決まっており児童が混乱しないよう工夫しています。視覚支援の工夫をしています。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○			
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		毎年、事業計画策定し、月に1回職員会議で進捗確認しています。改善活動の研究発表を毎年行っています。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		保護者向けに満足度調査を実施し、評価結果を分析し対応を改善しています。	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		昨年度より実施しました。	昨年度から評価内容と改善内容をホームページにて公表します。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	外部評価は行っていません。	今後検討していきたいと思います。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		内部研修の年間計画をたて定期的に勉強会を行っています。外部研修に参加した際は伝達研修を行い情報を共有しています。	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		支援計画に対し3か月ごとにモニタリング実施し、課題やニーズを見直ししています。計画は保護者に確認して頂き修正を加えています。	
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		事業所独自のアセスメント様式を使用し、児童の発達の変化を見ています。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		各項目に沿ってできるだけ具体的な支援内容になるよう作成しています。	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		日々支援計画にそって支援し、記録を作成しています。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		前日、スタッフで話し合い、活動グループや活動内容を決めています。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している		○	曜日で固定している活動もあるが、調理や行事・制作活動などを組み込みながら変化のあるスケジュールを作成しています。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○		本人の発達に合わせた個別の活動とルール習得のための集団活動を組み合わせています。	
17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している		○	前日役割分担表作成し、スムーズに支援や活動が出来るようになっています。		

	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		○	児童の当日の状況を振り返り、スタッフ間で話し合いを持ち、次回からの支援にいかしています。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている		○	記録はその日のうちに行っています。また記録から支援の検証を行っています。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している		○	3ヶ月1回モニタリングを実施し、計画の見直しに繋がっています。	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している		○		
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている		○	市町村や児童相談所。保健師と連携し情報の共有を図っています。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている			対象児童はいません。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている			対象児童はいません。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○	就学児童の保護者に対しては情報提供していますが、保育所や幼稚園の間にはいる事はできていません。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○	特別支援学校と情報共有していません。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○	青森市や八戸市にある発達障害者支援センターが主催する研修等に積極的に参加しています。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○	現在は行っていません。	今後検討していきたいと思います。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加している		○	三沢市やおいらせ町で行っている自立支援協議会や三沢市の子ども・子育て会議に参加しています。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている		○	連絡帳やお迎えに来た際など日々の状況をやり取りし、共通理解を図っています。	
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		○	以前は行っていましたが、現在は行っていません。	定期的に開催できるよう検討したいと思います。	
保護者への説明責任	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている		○	契約時に行っています。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている		○	計画作成時に行っています。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている		○	子育ての悩みについては随時相談に応じ助言をしてきています。	送迎時や連絡帳にて相談に応じているが直接会わない保護者や記入の少ない方などはなかなか難しい。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	1年に数回、茶話会を企画し参加を呼びかけています。保護者同士で情報を交換したり、悩みを相談する場となっています。	
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している		○	子どもや保護者から相談申し入れがあった場合は時間や場所を確保し、適切な人が対応できる体制づくりをしています。	

口等	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		広報を定期的に発行、毎月利用希望表にて行事予定をお知らせしています。必要なことがあればお手紙を発行しています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		契約時個人情報利用同意書にサイン・捺印いただいています。広報に写真を載せる場合は同意をいただいています。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		子どもに対しては視覚でわかるような配慮をしています。保護者に対しては専門用語を使わないよう配慮し、わかりやすく説明しています。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○			今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○			各種マニュアル策定し、毎月避難訓練実施しています。が保護者への周知が不足しているので周知する機会を設けます。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		地震・火災・不審者想定避難訓練実施しています。非常食の備えをしています。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		契約時に確認しています。	服薬変更等把握できていないときもあるので声がけしていきます。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		診断書の提示はないがお伺いシートにて原因食材の確認、受診状況、服薬について確認しています。	調理実習時やおやつ提供時気をつけています。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリ気づきノートに記載し、毎月の職員会議で確認、共有しています。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		毎年、県主催の虐待研修に参加しています。参加者より伝達研修行っています。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している			身体拘束の事案はありません。	

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表：令和3年3月10日

事業所名 緑ヶ丘発達支援センターひかり

保護者等数(児童数) 11名 回収数10名 割合 91%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	7	1	0	2	少し狭い感じがする。	限られたスペースを有効活用していきます。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	5	1	0	4	何人の職員がいて何人の児童を担当しているか。スタッフの資格、専門性がわからない。	保育士2名の配置で基準以上の配置となっています。午前中は放課後等のスタッフが1~3名はいます。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	10	0	0	0		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	10	0	0	0		
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	10	0	0	0		支援計画は定期的に見直しし課題やニーズを分析しています。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	10	0	0	0		
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	10	0	0	0		
	8 活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	10	0	0	0		固定した活動もありますが季節の制作活動や調理や行事など変化のある活動を考えています。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	1	2	6	保育園では交流しているが。	今後検討していきたいと思います。
	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	9	1	0	0		
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	10	0	0	0		保護者への説明不足があると思うので今後は、分かりやすく説明していきます。
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング*4等)が行われているか	1	3	1	5	茶話会で話を聞くこともあるが講習会があるといい。まだ参加できていない。	以前は行っていたが最近実施していないので検討していきます。

保護者への説明等	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	9	1	0	0	送迎時に伝えてくれるスタッフとそうでないスタッフがいます。	連絡帳でのやり取りを継続し、面談の時間も確保し、共通理解できるよう努力します。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	9	0	0	1	・スタッフの方と直接面談をして話す機会が欲しい。 ・送迎時時々相談している。	定期的な面談ができていないので実施していきます。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	10	0	0	0		開催日を工夫していきます。障害の公開については難しいと思いますので、話し合っしてほしいテーマ等あれば検討していきます。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	8	1	0	1		苦情解決の体制はあります。迅速・適切な対応を心がけていきたいと思っています。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	9	1	0	0		
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	9	0	0	1		広報を定期的に発行、毎月利用希望表にて行事予定をお知らせしています。必要なことがあればお手紙を発行しています。自己評価の結果を公表していきます。
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	9	0	0	1		契約時個人情報利用同意書にサイン・捺印いただいています。
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	9	0	1	0		各種マニュアルは策定していますが保護者への周知が不足しているので周知する機会を設けます。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	10	0	0	0		定期的を実施しているが参加出来ない児童もいたので実施日を検討していきます。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	9	1	0	0		引き続き子どもたちが楽しめる療育ができるよう努力します。
	23	事業所の支援に満足しているか	10	0	0	0	長期休み時間開所時間を早くして欲しい。	日々研鑽しより良い支援ができるよう努力していきます。

*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことで、これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことで、子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶことで、子どもが適切な行動を獲得することを目標としています。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和3年 月 日

事業所名 堀口児童デイサービスセンターひかり 保護者等数(児童数) 18名 回収数 17名 割合 94.4 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	12	3	2		限られたスペースの中で工夫して安全に留意していきます。公園に隣接しているので有効活用していきます。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	13	3		1	有資格者や経験2年以上の配置となっています。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	13	1	2	1	児童が自発できるように、限られた環境の中で工夫して有効活用していきます。場合によって、追加設置し配慮していきます。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	17				子供の成長、能力をみて保護者にわかりやすく説明していきます。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	13	2		2	曜日によって固定している活動もありますが、調理・制作・行事等を組み込みながら変化のあるスケジュールを今後も工夫していきます。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	4	2	5	6	今後検討していきたいと思います。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	14	3			職員間の伝達連携に不足のないよう情報共有し2度手間のないようにしていきます。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	13	3	1		日頃から保護者とコミュニケーションを図りながら、共通理解できるよう努めていきます。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	9	5	2	1	保護者様と日程調整をして年に1度の面談日を設けて実現していきます。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	11	5		1	今後、保護者同士が連携できるように検討していきます。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	11	2		4	苦情解決の体制はあり、迅速、適切な対応を誠意をもって対応しています。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	14	3			連絡帳の活用や口答でわかりやすく説明していきます。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	13	1	2	1	今後もホームページや定期的な広報誌で様子を伝えていけるよう工夫していきます。
非常時 等の 対応	14 個人情報に十分注意しているか	13	1		3	同意書を作成の上、得た情報は鍵付き書庫に保管し、個人情報の流出しないようにしていきます。
	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	14	1	2		災害発生時への防災マニュアルは策定している。周知不足ないように実施訓練報告書を情報開示していきます。感染症対応の研修し周知されています。
満足 度	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	16			1	毎月実施していますが、参加できない児童について実施日を検討して避難訓練をしていきます。
	17 子どもは通所を楽しみにしているか	14	2		1	今後も楽しめる療育ができるように努力します。
	18 事業所の支援に満足しているか	14	3			児童への配慮と日々研鑽して良い支援ができるようにしていきます。信頼を得るため職員間連携を強化し満足していただけるように努めていきます。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことで、放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことで、子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和3年 3月 10日

事業所名 堀口児童デイサービスセンターひかり

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			限られたスペースの中で工夫して安全に留意します。公園に隣接しているので有効活用していきます。
	2 職員の配置数は適切である	○		有資格者や経験2年以上の配置となっております。	規定沿った人数配置はしていますが、安心して利用ができるよう、全体で取り組んでいきたいと思っています。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		場所によって活動する内容が決まっており児童が混乱しないよう工夫しています。	
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		毎年、事業計画策定し、月1回職員会議で進捗確認しています。改善活動の研究発表を毎年行っています。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		保護者向けに満足度調査を実施し、評価結果を分析し対応を改善しています。	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		公開しています。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	外部評価は行っていません。	今後、検討していきたいと思っています。
適切な支援の提供	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		内部研修の年間計画をたて定期的に勉強会を行っています。外部研修参加した際は、伝達研修を行い共有しています。	
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		計画については3ヶ月ごとにモニタリングを実施し、課題やニーズを見直ししています。計画は保護者に確認していただき修正を加えています。	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		前日、スタッフで話し合い、活動グループや活動内容を決定しています。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		曜日で固定している活動もあるが、調理や制作や行事等を組みながら変化のあるスケジュールを作成しています。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		固定している活動もあるが、調理や制作を組みながら変化のあるスケジュールを作成しています。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		本人の発達に合わせた個別の活動とルール習得の為に集団活動を組み合わせています。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		いつもと違う事は、スタッフ共有の回覧板に記載したり、スタッフ間で話し合いを持つが、次の日に支援の振り返りをしています。	その日の振り返りは今後、時間を設けていきたいと思っています。次日に支援の振り返りを行っています。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		記録はその日のうちに行っています。また、記録から支援検証を行っています。	
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		3ヶ月1回はモニタリングを実施し、計画の見直しに繋がっています。		
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○				
20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○				

関係機関や保護者との連携	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○		対象児童の主治医と各関係者とカンファレンスを行い情報共有を進めます。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		必要性のある場合にのみ対応している。	事案があった場合は、情報共有し相互理解に努めます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		相談員へ情報提供し繋げている。	事案があった場合は、情報共有し相互理解に努めます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		青森市や八戸市にある発達障害者支援センターが主催する研修等に積極的に参加しています。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		現在はありません。	今後検討していきたいと思います。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		参加していないが、三沢市で行っている自立支援協議会や三沢市子供・子育て会議に参加しているスタッフから伝達を受けています。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		連絡帳やお迎えに来た際など日々の状況をやり取りし、共通理解を図っています。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		年に数回ある保護者茶話会で開催している。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に行っています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		子育ての悩みについては、随時相談に応じ助言をしていきます。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		1年に数回、茶話会を企画し参加を呼びかけています。保護者同士で情報交換したり、悩みを相談する場となっています。	茶話会を周知をさせ、保護者同士が連携できるように検討していきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		子供や保護者から相談申し入れがあった場合は時間や場所を確保し、適切な人が対応できる体制づくりをしています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		広報を定期的に発行、毎月「利用希望表」にて行事予定をお知らせしています。必要なことがあればお手紙を発信しています。	
	35	個人情報に十分注意している	○		契約時、個人情報同意書にサイン・捺印頂いています。広報にのせる場合は同意を頂いています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		子供に対しては視覚ツールで分かるように配慮しています。保護者に対してわかりやすく説明しています。	肯定的な言葉や分かりやすく伝えたり、専門用語を使わないように分かりやすく伝えます。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わられた事業運営を図っている	○			今後検討しています。企画案中である。
非常時	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			各種マニュアルは策定しているが、保護者への情報伝達が不足しているので周知する機会を設けます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		地震・火災・不審者想定避難訓練実施しています。非常食の備えをしています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		毎年、県主催の虐待研修に参加しています。参加者より伝達研修を行っています。	

同等の対応	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		○	身体拘束の事案はありません。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○	食物アレルギーの有無を確認し、医師の指示を確認し、職員で情報共有しています。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している		○	ヒヤリ気付きノートに記載し、毎月の職員会議で確認、対策を立て共有しています。	

ミニ改善記録報告書で改善の洗い出しと改善後の効果を記録しています。

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 3年 3月 10日

事業所名 堀口発達支援センターひかり

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			
	2 職員の配置数は適切である	○		保育士2名配置、経験2年以上の配置となっております。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がい者の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		場所によって活動する内容が決まっており児童が混乱しないよう工夫しています。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○			土曜日や長期休みは、放デイの児童の出入りや声があり、午睡環境を整え心地よく過ごせる環境に努めています。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		毎年、事業計画策定し、月1回職員会議で進捗確認しています。改善活動の研究発表を毎年行っています。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		保護者向けに満足度調査を実施し、評価結果を分析し対応を改善しています。	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している		○	昨年度より実施しました。	昨年度から評価内容と改善内容をホームページにて公表します。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	外部評価は行っていません。	今後検討していきたいと思ひます。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		内部研修の年間計画をたて定期的に勉強会を行っています。外部研修参加した際は、伝達研修を行い共有しています。	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		計画については3ヶ月ごとにモニタリングを実施し、課題やニーズを見直ししています。計画は保護者に確認していただき修正を加えています。	
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		事業所独自のアセスメント様式を使用し、児童の発達の変化を見ています。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		各項目に沿ってできるだけ具体的な支援内容になるよう作成しています。	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		日々支援計画に沿って支援し、ケース記録を作成しています。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		前日、スタッフで話し合い、活動グループや活動内容を決めています。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		曜日で固定している活動もあるが、調理や制作、行事等を組み込みながら変化のあるスケジュールを作成しています。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○		本人の発達に合わせた個別の活動とルール習得の為の集団活動を組み合わせています。	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		○	いつもと違う事は、スタッフ共有の白板に記載したり、スタッフ間で話し合いを持つが、次の日に支援の振り返りを行っています。	その日の振り返りは今後、時間を設けていきたいと思ひます。次日に支援の振り返りも行っています。
19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		記録はその日のうちに行っています。また、記録から支援検証を行っています。		

	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		3ヶ月1回はモニタリングを実施し、計画の見直しに繋がっています。	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		市町村や児童相談所。保健師と連携し情報の共有を図っています。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○		対象児童はいません。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○		対象児童の主治医と各関係者とカンファレンスを行い情報共有を進めます。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		カンファレンスを設けて情報共有しています。また、園との相互理解を図るため見学の提供をしています。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		特別支援学校と情報共有しています。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		青森市や八戸市にある発達障害者支援センターが主催する研修等に積極的に参加しています。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		現在は行っていません。	今後検討していきたいと思います。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加している	○		参加していないが、三沢市で行っている自立支援協議会や三沢市子育て会議に参加しているスタッフから伝達を受けています。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		連絡帳やお迎えに来た際など日々の状況をやり取りし、共通理解を図っています。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		現在行っていないので、テーマを考へ開催の検討をします。	定期的に開催できるよう検討したいと思います。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に行っています。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		計画作成時に行っています。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		子育ての悩みについては、随時相談に応じ助言をしています。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		1年に数回、茶話会を企画し参加を呼びかけています。保護者同士で情報交換したり、悩みを相談する場となっています。	茶話会を周知をさせ、保護者同士が連携できるように検討していきます。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		子供や保護者から相談申し入れがあった場合は時間や場所を確認し、適切な人が対応できる体制づくりをしています。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		広報を定期的に発行、毎月「利用希望表」にて行事予定をお知らせしています。必要なことがあればお手紙を発行しています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		契約時、個人情報同意書にサイン・捺印頂いています。広報にのせる場合は同意を頂いています。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		子供に対しては視覚ツールで分かるように配慮しています。保護者に対してわかりやすく説明しています。	肯定的な言葉や分かりやすく伝えたり、専門用語を使わないように分かりやすく伝えます。

	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		今後検討しています。企画案中である。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○			各種マニュアルは策定しているが、保護者への情報伝達が不足しているので周知する機会を設けます。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		地震・火災・不審者想定避難訓練実施しています。非常食の備えをしています。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		契約時に確認しています。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		食物アレルギーの有無を確認し、医師の指示を確認し、職員で情報共有しています。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリ気づきノートに記載し、毎月の職員会議で確認、対策を立て共有しています。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		毎年、県主催の虐待研修に参加しています。参加者より伝達研修行っています。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している		○		身体拘束の事案はありません。

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表：令和 3年 3月 10日

事業所名 堀口発達支援センターひかり

保護者等数(児童数) 8名 回収数 8名 割合 100%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	7			1	どのくらいのスペースが十分な広さなのかわかりません。	限られた環境の中で工夫をします。公園に隣接するので有効活用していきます。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	6	2			何人が適切か、専門性もわかりません。	保育士や児童指導員等規定に沿った人数配置行っています。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	5	1	2			絵カード、視覚支援ツールを活用して分かりやすくする工夫をしています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	6			2		コロナ感染予防対策では、児童帰宅後全ての場所を清掃・消毒しています。空気清浄機を設置しています。
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	8					保護者にわかりやすく説明していきます。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	7			1		保護者にわかりやすく説明していきます。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	7	1				
	8 活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	6	1		1		固定している活動もあるが、調理、制作、行事等を組みながら変化のあるスケジュールを今後も工夫していきます。PTの日程や評価内容についてお知らせしていきます。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	4	1	1	2		今後検討していきたいと思えます。
保護者への説明等	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	7	1				説明に不足がないように、分かりやすく説明していきます。
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	6	1		1		説明に不足がないように、わかりやすく説明していきます。
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング*4等)が行われているか	3		3	2		今後、検討し実施していきます。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	6	1	1		困ったことはすぐに聞いてくれるので安心です。	連絡帳や送迎時、自宅や学校での様子を聞き情報の伝達・受け答えをしています。
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	3	2	2	1		保護者様だけでなく保育園等と協力を行い本人にあった支援を展開しています。
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	6			2		今後、保護者同士が連携できる会ができるように検討していきます。

	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	7	1			苦情解決の体制はあり、迅速・適切な対応を誠意をもって対応していきます。	
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	7			1	連絡帳の活用や口答で分かりやすく説明していきます。	
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	6	1		1	定期的な広報誌はいつも楽しみです。子供たちの様子がわかります。 今後もホームページや定期的な広報誌で様子を伝えていけるよう工夫していきます。	
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	6				2	同意書を作成の上、得た情報は鍵付き書庫に保管し、個人の情報の流出しないようにしています。
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	6		1	1	災害発生時への防災マニュアルは策定している。実施訓練報告書を情報開示しています。感染症対応の研修が行われている事を伏せて公表します。	
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	7				1	毎月実施していますが、参加できない児童について実施日を検討して避難訓練をしていきます。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	7				1	朝嬉しそうに行くので感謝しています。 今後も楽しめる療育ができるように努力します。
	23	事業所の支援に満足しているか	7			1	満足しています。いつもありがとうございます。 児童への配慮と日々研鑽して良い支援ができるようにしていきます。信頼を得るため職員間連携を強化し満足していただけるように努めていきます。	

*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方を学ぶことで、子どもが適切な行動を獲得することを目標としています。